

◆◆◆ 四万十川中流域重要文化的景観 写真コンテスト入賞作品展 ◆◆◆

開催期間：平成28年1月22日(金)～2月18日(木)

四万十町の重要文化的景観である四万十川流域および支流の四季折々の自然、文化、風土などを題材とした作品の中から入賞作品のみを展示します！【観覧料】無料

美術館・図書館からのお知らせ

◆子どもに絵本や読書の橋を架ける連続講座◆  
『ブックトークを体験してみよう!』

【講師】森笑(土佐市立市民図書館職員)  
【日時】1月23日(土) 午後2時～4時  
【会場】四万十町立図書館・大正分館  
【参加費】無料  
【申込み】図書館へお申し込みください。  
四万十町立図書館 ☎22-5000  
大正分館 ☎27-1193

ブックトークってどんなものだろう?と思われる方、ブックトークをやってみたい方。小学校中学年～高学年向きの本の紹介やブックトークの実演です。ブックトークを楽しんでください。

◆子どもに絵本や読書の橋を架ける連続講座◆  
『愛を届ける ミニ絵本作り2』

【講師】小笠原まき(高知市在住絵本作家)  
【日時】2月6日(土) 午後1時～4時  
【会場】四万十町立図書館  
【定員】20名(大人の方が対象です)  
【参加費】400円  
【申込み】図書館へお申し込みください。  
四万十町立図書館 ☎22-5000  
大正分館 ☎27-1193

大切な人へ、そして自分へ、手作りのミニ絵本を贈りませんか? 昨年大好評だった、絵本作り教室。アンコールに応じて行きます!今年度は時間拡大でゆったり取り組みます。

■開館時間

図書館/午前 9:30～午後6:00(日曜 午前 9:00～午後5:00)  
美術館/午前10:00～午後5:30(日曜 午前10:00～午後4:30)

■休館日/月曜・祝日

四万十町立図書館・美術館 ☎22-5000  
四万十町立図書館 大正分館 ☎27-1193

サラ通信



皆さんこんにちは!お久しぶりですね!

前回のサラ通信ではハロウィンについて書きましたが、今回はアメリカの大事なもう一つのイベント“クリスマス”について書きたいと思います。

クリスマスのことは色々ご存知だと思いますが、私の家族が過ごすクリスマスと皆さんが過ごすクリスマスは少し違います。

私の家族はポーランド系なので、MerryChristmas(メリークリスマス)ではなく、Wesolych Świąt(ヴェソルシェヴィアット)といいます。

そして、アメリカではハムとローストチキンを食べますが、ポーランドではソーセージとじゃがいもを合わせて

オープンで焼いたものとポテトサラダを食べます。ポーランド料理にはポテトが多いです。

最後に一番珍しい習慣は、オプワテック(Oplatek)という白いせんべいのようなものを一口ぐらいの大きさに割ってお互いの相手の口に入れることです。これはお互いの幸福を願う挨拶といわれています。

よろしかったら今年のクリスマスにアメリカやポーランドの習慣を試してみてください。

Wesolych Świąt



【お問い合わせ先】教育委員会 生涯学習課 ☎22-3576

地域おこし協力隊が行く!

皆さん、こんにちは。四万十町では現在13人の地域おこし協力隊員が活動しています。こちらでは、各地域で日々活動している隊員の様子をご報告させていただきます。



土谷 卓郎



東日出雄



石田 朋久



菊池 祐



藤原 愛



小野 雄介



石井 創



立岡 和樹



瀬島 和也



井原 理恵



今井 深輝



鈴木 信太郎



野村 一将

今年の4月に四万十町に移住し、早8か月が経とうとしています。振り返る期間としてはまだ1年にも満たないのですが、それでも本当に多くの出会いがあり、学びがあり、感動がありました。これまでの生活との違いに多少の戸惑いもあった春。何かと理由をつけ見に行った四万十川が陽の光を浴び、キラキラと輝く風景は、今でも鮮明に頭の中に焼きついています。南国高知のパワーに圧倒された夏。米奥の夏祭り、金太郎夜市、そして踊り子として参加したよさこい四万夢多。夜遅くまで共に過ごす時間はとても新鮮で、さらにこの土地に惹きこまれました。(体重もかなり増えましたが・・・!)

四万十町での生活にも慣れ、様々な物事が急速に動き出した秋。なんとなく、この町でどのような形で暮らしていくのか。その一部が見えたような気がします。年も明け、また新たな季節が巡ります。今年も様々なことに挑戦し、成長していこうと思います。



十和では「とおわを考える会」という会議を毎月1回行っています。十和の一次産業を軸とした事業者が集い、「一次産業の再構築」「地域産業の担い手の育成」「十和地域の産業の新たな仕組みづくり」を目指しています。私の任務はこの「とおわを考える会」の中の事業者がそれぞれの課題を解決でき、連携できる仕組みづくりをすることです。1年目は「一次産業の現場を知る」ということで主に春はお茶、秋は栗、そして冬は林業の現場でそれぞれの仕事を学んでいます。そして年間を通して、野菜生産者や道の駅四万十とおわの方々と一緒に野菜の集荷事業を行いながら、十和地域の産業について学び、活動をしています。現在は林業の現場で「地ごしらえ」について猛勉強中です。「森を守る」「川を守る」ことの偉大さを感じながら頑張っていきたいです。

今年の冬は寒さと格闘の毎日です。四万十町の冬は初めてですが、想像よりずっと寒く、特に朝方は娘とどちらが早く起きるか競争しています。四万十町にきて半年が過ぎ、地域の催しや祭りに少しずつ参加させてもらっています。

最近では、下津井の「下津井仁井田神社大祭」にお邪魔しました。牛鬼に入り、神社を出発した後、集落を一軒一軒回っていきます。途中のメガネ橋を通り過ぎていく姿は風情があり伝わるものがありました。神社に帰り着いた後は、下津井出身の大人の方々と子どもさん親子で「花取り踊り」を披露してくれました。太鼓の音頭が心地よく、それに合わせて踊るみなさんの姿に感動しました。

今回、下津井仁井田神社大祭では貴重な体験をさせていただきました。下津井のみなさん、関わった人たちが一体になり素晴らしい大祭でした。これからも機会があれば参加していきたいと思っています。

